

**令和7年度 全国学力・学習状況調査**  
**教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立東中学校長

令和7年4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語、数学、理科の3教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

**【本校と全国の平均正答率比較】**

| 教科 | 全国平均<br>正答率      | 下回っている | やや下回っている | ほぼ同じ | やや上回っている | 上回っている |
|----|------------------|--------|----------|------|----------|--------|
| 国語 | 54.3%            |        |          |      | ○        |        |
| 数学 | 48.3%            |        | ○        |      |          |        |
| 理科 | 503点<br>(IRTスコア) |        |          | ○    |          |        |

※中学校理科がCBT（コンピューターテスト）により実施され、学校ごとに出題された問題が異なることから、「平均正答率」に代わり「IRTスコア」という指標が使われるようになりました。

「IRTスコア」とは国際的な学力調査で採用されているテスト理論で、この理論を使うと異なる問題から構成される試験の結果を同じものさし（尺度）で比較できます。なお、標準点は500点となっております。

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

| 領域              | 全国平均正答率 | 下回っている | やや下回っている | ほぼ同じ | やや上回っている | 上回っている |
|-----------------|---------|--------|----------|------|----------|--------|
| 言葉の特徴や使い方に関する事項 | 48.1%   |        |          |      |          | ○      |
| 話すこと・聞くこと       | 53.2%   |        | ○        |      |          |        |
| 書くこと            | 52.8%   |        |          | ○    |          |        |
| 読むこと            | 62.3%   | ○      |          |      |          |        |

【考察】

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」では全国平均を上回る結果となりました。日々の授業の中で、語彙力の向上のために新出漢字の定着やその漢字を用いた熟語の意味を確認する活動を意図的に取り入れてきたことで、語彙の定着や広がりにつながったものと思われます。
- 「読むこと」の結果では全国平均を下回りました。正答を導くためには文章全体を読んで判断しなければならないのですが、問題文の一部のみに注視して性急に判断してしまったことで、誤答につながったようです。本文の一部ではなく全体を的確に読み取り、何を聞かれているのかを確認するなど、正しく読み取る力が身につくよう指導していきます。

【数学：本校と全国の領域別平均正答率比較】

| 領域     | 全国平均正答率 | 下回っている | やや下回っている | ほぼ同じ | やや上回っている | 上回っている |
|--------|---------|--------|----------|------|----------|--------|
| 数と式    | 43.5%   |        |          | ○    |          |        |
| 図形     | 46.5%   |        | ○        |      |          |        |
| 関数     | 48.2%   |        |          | ○    |          |        |
| データの活用 | 58.6%   | ○      |          |      |          |        |

【考察】

- 「図形」や「データの活用」の領域で、用語の意味やその使い方に関する問題の正答率が全国平均を下回りました。今後は、用語の意味を正しく理解させた上で、適切に活用する場面を多く設定し、基礎的・基本的な学習内容の定着を図っていきます。
- 数に関する事象について考察し、その事柄が成り立つ理由を説明する問題や、日常的な事象について関数の関係に着目し、問題解決の方法や手順を説明する問題が全国平均を上回りました。他者と協働的に問題を解決する中で、その根拠や方法・手順を丁寧に伝え合ったり、的確に記述したりすることに根気強く取り組んだ成果だと考えます。

### 【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

※理科については、一部の共通問題を除き、学校ごとに出題された問題が異なり、かつ公表されている問題も全体の4割程度となっており、国語や数学のように領域別の正答率が提供されていないことから、考察のみ記載いたします。

### 【考 察】

- 電気回路の問題や実験で精製水を用いる理由を答える問題では、全国平均正答率を上回る結果でした。普段から実験結果や既習事項をもとに継続的に思考し、表現する活動を重視している成果であると考えられます。また、ICTを活用し、学習内容と日常生活を結びつける活動を取り入れた成果であると考えられます。
- 地層に関する問題の正答率が低い結果となりました。実際に見ることが難しい地層への苦手意識をもつ生徒が多いため、火山灰や岩石の観察、ICTの活用による地層などの地球内部の可視化を通して、視覚的に内容を理解させられるように指導していきます。

**令和7年度 全国学力・学習状況調査  
質問紙調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立東中学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、生徒の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

|        |     | できている | どちらかといえば<br>できている | どちらかといえば<br>できていない | できていない |
|--------|-----|-------|-------------------|--------------------|--------|
| 中<br>3 | 全 国 | 27.4  | 50.1              | 19.2               | 2.8    |
|        | 東 中 | 20.5  | 56.4              | 17.9               | 5.1    |

(単位 %)

**【考 察】**

- 肯定的な回答をした生徒が7割以上で、自分にあった学習ができている生徒が多いと考えられます。授業や自主学習で分からないことがあるときは、教科書や資料集、さらに、ワーク等を活用するなど工夫して学習しています。また、タブレット端末を用いて調べる活動も行っています。
- 学級で様々な学習方法を紹介し合ったり、効果的な学習方法を検討したりする取り組みを継続し、一人一人の学習の状況に応じて、自分にあった適切な学び方を選択できるよう支援していきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

|        |     | 3時間以上 | 2時間以上<br>3時間未満 | 1時間以上<br>2時間未満 | 30分以上<br>1時間未満 | 30分未満 | 全くしない |
|--------|-----|-------|----------------|----------------|----------------|-------|-------|
| 中<br>3 | 全 国 | 9.9   | 20.9           | 30.8           | 19.1           | 11.3  | 7.7   |
|        | 東 中 | 2.6   | 7.7            | 53.8           | 28.2           | 5.1   | 2.6   |

(単位 %)

**【考 察】**

- 2時間以上学習している生徒は全国と比べて少なく、家庭における学習時間が短いといえます。自己マネジメント手帳を効果的に活用することや、学習目標や計画を立てる機会を設けるなどの工夫をして、家庭学習の時間が十分に確保できるよう指導を続けていきます。特に、メディアコントロールを意識させ、時間の使い方について自己管理できるよう支援していきます。
- 夢や目標をもち、それに向かって、今やるべき事に主体的に取り組める生徒に育てていきたいと考えています。自分に必要な学習内容や学習時間などを考え、家庭学習の充実が図れるよう、個に応じた指導・助言を行っていきます。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

|        |     | 当てはまる | どちらかといえば<br>当てはまる | どちらかといえば<br>当てはまらない | 当てはまらない |
|--------|-----|-------|-------------------|---------------------|---------|
| 中<br>3 | 全 国 | 23.0  | 50.4              | 21.3                | 3.7     |
|        | 東 中 | 7.7   | 59.0              | 25.6                | 2.6     |

(単位 %)

【考 察】

- 授業では課題（めあて）を明確にし、生徒が「何を学習するのか」を意識できるように進めています。今後はさらに、授業の終わりに適用問題に取り組むことや、本時の学習内容をまとめ、振り返る時間を確実に設けることで、「何ができたようになったのか」「何がわからなかったのか」を明らかにし、学ぶ意欲を高めながら次の学習につなげられるよう支援していきます。
- 授業、定期テストに向けての学習、家庭学習などに取り組む中で、分からない内容や疑問に思ったことなどを級友や教師に質問するなどして、理解するまで粘り強く学習に取り組む生徒が増えました。今後も、分からないことをそのままにせず、自己の課題を理解して主体的に学習する生徒を育てていきます。

4 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題解決に取り組んでいますか。

|        |     | 当てはまる | どちらかといえば<br>当てはまる | どちらかといえば<br>当てはまらない | 当てはまらない |
|--------|-----|-------|-------------------|---------------------|---------|
| 中<br>3 | 全 国 | 45.5  | 46.4              | 5.3                 | 1.3     |
|        | 東 中 | 35.9  | 48.7              | 5.1                 | 2.6     |

(単位 %)

【考 察】

- 全体の84.6%が授業や学校生活において、周囲の考えを大切にし、お互いに協力しながら課題解決に取り組むことがおおそできています。話し合い活動において、自分の考えを素直に表現し、相手の考えを共感的に聞くことは、思考の広がりや深まりにつながります。他者に伝えることにより自分の思考が整理されたり、他者からの情報により新たな気付きや発想が生まれたりすることで学びの効果が高められるよう、協働的な学習に取り組んでいきます。
- 学習に向かう姿勢に真剣さが増し、集中して学習活動に取り組める生徒が増えたことで、学習する雰囲気や環境を生徒自身でつくっていくことができるようになってきました。希望進路実現に向けて、学級や学年全員でよい雰囲気をつくりながら切磋琢磨することができるよう、今後も指導していきます。